学校番号	４１１

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	高等学校 改訂版 政治・経済（第一学習社）						
副教材等	最新 政治・経済資料集 2019（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

1．予習・復習は自分で行うものです。「政治経済」という科目の特性上最新の社会情勢を中心に社会のしくみや問題点を論じていきますので、新聞やテレビなどのニュースには注視し、日常生活の中で身近になるようにメディアには触れていてください。

2．一般的に社会の授業では板書と口述による説明が流れるように行われますので、授業の本筋である板書事項の記述及び整理と口述による説明部分のメモ書きを上手に両立するノートの取り方を要求します。

3．授業に際しては、主体的に参加することを要求します。そのなかで理解できない事項や説明、聞き逃しによる事項などは積極的に授業を止めてください。それが他の人への学習効果のあがる質問になることが多分にありますので、とことん突き詰めて考えることにより、疑問点を見いだす授業の受け方を要求します。

2　学習の到達目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	作業（課題）プリント レポート	定期考査 作業（課題）プリント レポート	定期考査 作業（課題）プリント レポート	定期考査 作業（課題）プリント レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第2編　現代の経済	第1章　現代経済のしくみと特質					a:経済の基本的な仕組み、経済の三主体、具体的な経済政策をもとに、現代の経済について考え、考察しようとしている。また、企業の社会的責任、景気変動に対する経済政策、身近な商品の物価の変遷を調べることによって、関心を高めようとしている。 b:社会主義経済の現状、経済の三主体の関わり、独占・寡占の弊害、デフレの影響、財政・金融政策等について、理解を深めながら考察している。 c:教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し、活用している。 d:資本主義の課題、株式会社、需要曲線と供給曲線の意味、市場の失敗、財政・金融政策について正しく理解している。	定期考査 作業(課題) プリント
		経済の発展	○	○		○		
		経済主体と経済活動	○	○		○		
		市場経済の機能と限界	○	○		○		
		経済成長と景気変動	○	○	○	○		
		物価の動き	○	○		○		
		金融のしくみとはたらき	○	○		○		
		財政のしくみとはたらき	○	○	○	○		
2学期	第2編　現代の経済	日本経済の歩み	○	○		○	a:日本経済の特徴、大企業と中小企業における格差、様々な消費者問題、情報化のメリット・デメリット、労働問題、社会保障制度の在り方、日本のエネルギー政策等について関心が高まっている。 b:中小企業、日本の農業政策、消費者問題、社会保障制度、地球環境問題等について考察している。 c:教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し、活用している。 d:戦後日本の経済の流れ、中小企業、日本の食料自給率、消費者問題、高度情報社会の特徴、労働基本権、労働三法、社会保障制度、環境保護政策等について理解している。	定期考査 作業(課題) プリント
		中小企業の地位と役割	○	○		○		
		農業の現状と課題	○	○		○		
		消費者問題	○	○	○	○		
		高度情報社会の進展と課題	○	○		○		
		労働問題	○	○		○		
		社会保障の充実	○	○		○		
		環境保全と資源･エネルギー問題	○	○		○		
		第2章　国民経済と国際経済						
		国際経済のしくみ	○	○		○		
		国際協調と国際経済機関の役割	○	○		○		
		地域的経済統合	○	○	○	○		
		グローバル化する経済	○	○		○		
		南北問題と日本の役割	○	○		○		

3学期	第3編 現代社会の諸課題	第1章　現代日本の政治や経済の諸課題					a:現代の日本が抱えている課題、国際社会が抱えている課題について、関心を高めている。 b:具体的事例をもとに、それぞれの問題を多角的、多面的に探求し、望ましい解決方法を考察している。 c:教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し、活用している。 d:政治と経済は密着しており、互いに影響を与えていることを理解している。また、国際社会における諸課題を考える際、国内だけでなく国際的な面からも、また政治や経済の面からも課題を探求する必要があることを理解している。	作業(課題) プリント レポート
		少子高齢社会と社会保障	○	○	○	○		
		地域社会の変貌と住民生活	○	○		○		
		雇用と労働をめぐる問題	○	○		○		
		産業構造の変化と中小企業	○	○		○		
		農業と食料問題	○	○	○	○		
		第2章　国際社会の政治や経済の諸課題						
		地球環境と資源・エネルギー問題	○	○		○		
		国際経済格差の是正と国際協力	○	○		○		
		人種・民族問題と地域紛争	○	○	○	○		
		国際社会における日本の立場と役割	○	○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。